

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	建設部
	27004	橋梁長寿命化修繕事業		室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造		会計	01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備		款	08:土木費
	施策の方向	04:道路施設の適切な維持管理		項	02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト		目	06:橋梁維持修繕費
事業予定期間	H 27 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	道路法・道路構造令・道路橋示方書		

② 目的・概要	対象	道路を利用する人
	目的	対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長「長寿命化」、修繕に要する経費のコスト縮減に努めるものである。
概要		平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する橋長15m以上の橋梁(114橋)の補修を計画的に進めコスト縮減に努めるとともに、市民の安心・安全を確保する。

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	計画額	・補修設計委託 聖橋・枯木橋・久我橋・羽黒橋・於々奈気橋	・補修工事 神辺大橋・高飛大橋・太岡寺ばんだ橋・市瀬橋・忍山橋	
		・補修工事 神辺大橋・青木橋		
	予算額	事業費	80,000千円	82,000千円
		国庫支出金	44,000千円	45,100千円
		県支出金		
		地方債		
		その他		
		一般財源	36,000千円	36,900千円
		事業費	60,856千円	42,000千円
		国庫支出金	33,470千円	23,100千円
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	27,386千円	18,900千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		162,000千円	期間外事業費(H29以降)② -	総事業費 (①+②) -

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)		
①	名称	長寿命化修繕工事済み橋梁数(累計)				
	補足	健全度Ⅰ・Ⅱの橋梁を対象に工事実施				
②	名称	活動	計画値	4	9	14
	補足		単位	橋	橋	橋
③	名称		計画値			
	補足		単位			
④	名称		計画値			
	補足		単位			

事務事業評価シート

H27(主要事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	27004	橋梁長寿命化修繕事業	室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務	款 08:土木費
	施策の方向	04:道路施設の適切な維持管理	科	項 02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト	目	目 06:橋梁維持修繕費	

②目的・概要	対象	道路を利用する人
	目的	対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長「長寿命化」、修繕に要する経費のコスト縮減に努めるものである。
概要	平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する橋長15m以上の橋梁(114橋)の補修を計画的に進めコスト縮減に努めるとともに、市民の安心・安全を確保する。	

		27年度	28年度
①	名称	長寿命化修繕工事済み橋梁数(累計)	計画値 4
	補足	健全度 I・II の橋梁を対象に工事実施	実績値 3
			単位 橋
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績	・補修設計委託 聖橋・枯木橋・久我橋・羽黒橋・於々奈気橋 ・補修工事 神辺大橋・青木橋				・補修設計委託 聖橋・枯木橋・久我橋・羽黒橋・於々奈気橋 ・補修工事 神辺大橋 岩手鼻橋(一部H26より繰越) 青木橋(H28へ繰越)			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	3,792	平均給与額×③
	国庫支出金	44,000	38,178	38,178	一般職員人件費 ②	3,792		
	県支出金		0		所要人員 ③	0.50		
	地方債		0		臨時職員人件費 ④	0		
	その他		0		受益者負担額 ⑤			
	一般財源	36,000	31,238	31,238	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額		15,745				
		前年度からの繰越額		8,560				
		総人件費		①	3,792			
	総コスト		⑥	73,208				

⑤事業の評価	【事業の成果】 当該工事箇所(神辺大橋)は、国管理の河川を渡架している橋梁であるため、渇水時期での工事が求められていたなかで、発注時期を早期に行い完成が図れた。なお、当該工事箇所は3箇年の施工を計画しておりH28年度の完成を目指している。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】 渇水期時期の制約があるので、今年度も、迅速な発注に努めていきたい。 青木橋については、委託先である中日本高速道路株式会社から伊勢志摩サミット対策の関連で工事実施の時期調整に不測の日数を要し年度内完成が見込めず繰越となった。	
	【改善の方向性】 渇水期時期の工事の制約の中で9月発注を目的に11月から工事が行えるよう準備をしていきたい。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切
最終評価確認者: 維持修繕室長 松尾敏		